

【概要版】第二期データヘルス計画・第三期特定健康診査等実施計画〔平成30年度～平成35年度 6年間〕

第1章 総論

データヘルス計画

健康寿命を延伸し、医療費の適正化を目指すため、保険者が健診・レセプト等情報のデータ分析に基づいて、課題に対応した保健事業をPDCAサイクルで効果的・効率的に実施するための計画

特定健康診査等実施計画

保険者が「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、特定健康診査等の実施方法に関する基本的な事項等について定めるもの



4つの“STEP”

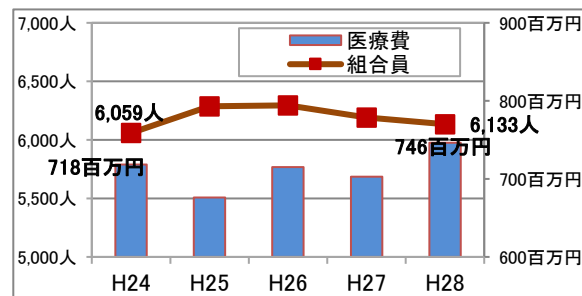
本計画は、厚生労働省「データヘルス計画作成の手引き」を参考に、「4つのSTEP」に分けて構成しており、この4段階を繰り返すことで事業を継続的に改善していきます。



宮城県支部の現状

【組合員】

- 組合員数全体は5年間で6,059人→6,133人(1.2%増)
- 医療給付費は年間で718百万円→746百万円(3.9%増)



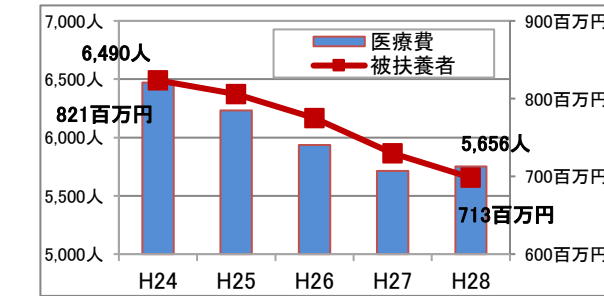
5つの疾病

- 医療費の増加の抑制が可能な疾病であること
- 保健事業を講ずることにより、組合員等の健康保持増進に資することが評価可能な疾病であること

| 選定理由 | 対策の性質 | |
|--|---------------------|----------------|
| | 事前(予防) | 事後(治療) |
| ●医療費の増加の抑制が可能な疾病であること ●保健事業を講ずることにより、組合員等の健康保持増進に資することが評価可能な疾病であること | タイプ1 生活習慣病 | タイプ2 悪性新生物 |
| | タイプ3 歯・精神・季節性の疾病 | タイプ4 その他の疾病 |
| | 健診・検診によるリスクが特定できる | |
| | 健診・検診によるリスクが特定できない | |

【被扶養者】

- 被扶養者数全体は5年間で6,490人→5,656人(12.9%減)
- 医療給付費は5年間で821百万円→713百万円(13.2%減)



STEP1 現状等の把握

【疾病別の総医療費・有病者数】

| | 生活習慣病 | | 悪性新生物 | | 歯の疾病 | | 精神の疾病 | | 季節性の疾病 | | その他の疾病 | |
|-----------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|--------|-------|--------|-------|
| | 組合員 | 被扶養者 | 組合員 | 被扶養者 | 組合員 | 被扶養者 | 組合員 | 被扶養者 | 組合員 | 被扶養者 | 組合員 | 被扶養者 |
| 総医療費(百万円) | 187.5 | 85.9 | 61.3 | 30.9 | 105.4 | 90.5 | 41.0 | 13.5 | 56.4 | 92.8 | 603.5 | 527.9 |
| 有病者数(人) | 1,673 | 617 | 326 | 153 | 2,999 | 3,022 | 360 | 178 | 2,246 | 3,059 | 5,565 | 5,613 |

【他支部との比較の分類】

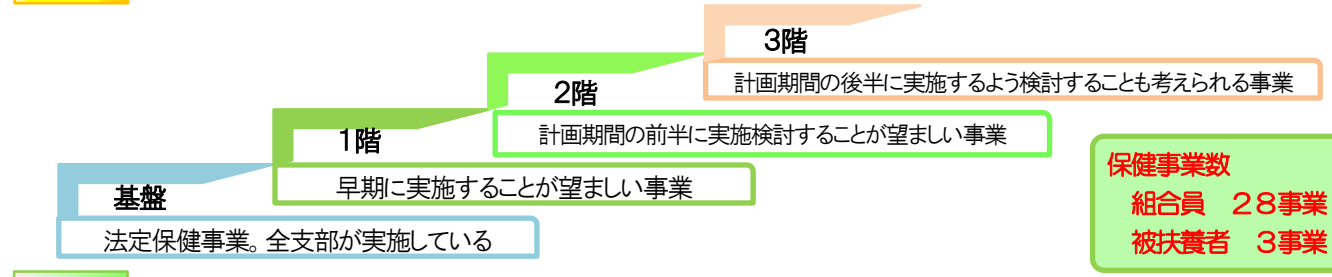
| | 組合全体の値と比べた状況 | | 総合 | 疾病ごと医療費(平成28年度) | |
|------|--------------|-------------|--------|-----------------|--------------|
| | 有病者率 | 有病者1人当たり医療費 | | 組合員 | 被扶養者 |
| 第1分類 | 高い | 高い | 本県組合員 | 精神の疾病、その他の疾病 | 生活習慣病、歯の疾病 |
| 第2分類 | 高い | 低い | | 生活習慣病 | 精神の疾病、その他の疾病 |
| 第3分類 | 低い | 高い | | 悪性新生物、季節性の疾病 | 悪性新生物 |
| 第4分類 | 低い | 低い | 本県被扶養者 | 歯の疾病 | 季節性の疾病 |

本県は組合員、被扶養者ともに生活習慣病が課題!

STEP2 対策を講ずべき健康課題の優先順位



STEP3 健康課題の対策の方向性(保健事業の選定)



STEP4 全体的な保健事業の推進(事業評価・見直し)

【計画の事業評価・見直し】

- 計画では、本格実施に向けてPDCAサイクルの好循環をさらに加速
- 評価指標を用いて目標の達成度を確認し、成否の背景(要因)を探る
- 中間評価(H29-H31 3年分)→H32年度中 最終評価(H29-H34 6年分)→H35年度中

| 項目 | 内容 | |
|------|------------|-----------------------------|
| 目標設定 | アウトプット指標 | 事業の成果を上げるために立案した実施量に到達しているか |
| | アウトカム指標 | 事業の成果が達成されたか |
| 事業実施 | ストラクチャー | 保健事業を実施するための仕組みや体制が整っているか |
| | プロセス | 事業の目標を達成するための実施過程が適切であるか |
| 振り返り | 事業実施状況の確認 | |
| 事業評価 | 目標の達成状況の確認 | |

【全疾病に対して横断的に実施する保健事業の推進】主なもの

| 保健事業 | 総合 | 支部の目標設定 | | 支部の事業実施 プロセス・ストラクチャー |
|--------------------------|----|------------------------------|---|--|
| | | アウトカム(成果) | アウトプット(事業実施量) | |
| 医療費通知 | 基盤 | - | - | ・医療費通知を組合員等に配布 ・庁内LAN等で組合員等に普及啓発 |
| ジェネリック医薬品普及促進 | 1階 | 差額通知対象者の変更率 73.0%(H28:71.4%) | ジェネリック利用割合 73.0%(H28:70.2%) | ・ジェネリック差額通知、ジェネリックシール等を組合員に配布 ・庁内LAN等で組合員等に普及啓発 |
| 職場環境の整備の推進(勤務時間内の特定保健指導) | 1階 | - | 就業時間内での特定保健指導の実施者数 238人(H28:256人) | ・特定健康診査の結果により特定保健指導の対象となった組合員に対して、事業主とともに特定保健指導を共同開催 |
| 電話健康相談・セカンドオピニオンサービス | 1階 | - | 健康相談 350人(H28:301人) 電話カウンセリング 70人(H28:69人) 面談カウンセリング 40人(H28:39人) | ・周知の資料を組合員等に配布するとともに、庁内LAN等で普及啓発 |
| 健康教育用資料等購入・配布資料等 | 2階 | - | 資料配付部数 200部(H28:150部) | ・55歳の組合員を対象にライフプラン冊子を購入して対象者へ配布 |

(その他)

計画の公表・周知

- 職員厚生課ホームページ及び庁内LAN等への掲載による。

個人情報保護

- 地方職員共済組合個人情報保護規程(平成17年地共規程第5号)
- 地方職員共済組合宮城県支部が取り扱う個人情報の保護に関する細則等

他の関連する計画等

- 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2期))(平成25年度～34年度)
- 第3期宮城県医療費適正化計画(平成30年度～35年度)
- 第3期宮城県がん対策推進計画(平成30年度～35年度)

特定健康診査等実施計画

(実施の状況)

| 支部目標 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健康診査 | 78.5% | 78.6% | 78.9% | 81.9% | 実施中 |
| 特定保健指導 | 41.4% | 43.5% | 41.3% | 35.8% | 実施中 |

特定健康診査は90%
特定保健指導は50%を目指して!

(支部目標)

| 支部目標 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | 平成35年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 特定健康診査 | 83.0% | 84.3% | 85.6% | 86.9% | 88.1% | 90.0% |

| | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 特定保健指導 | 45.0% | 46.0% | 47.0% | 48.0% | 49.0% | 50.0% |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|